

圧倒的なニーズの「SNS相談」

大阪府教育庁 相談件数
(1日当たりの平均)

LINE相談	32.9件
電話相談	0.7件
メール相談	3.2件

「ダブルパネルディスカッション」

第一部は、いじめ相談について。
第二部は、拡大した他ジャンル相談
(自殺、児童虐待、女性、引きこもり他)



◆第一部パネルディスカッション「SNSを活用したいじめ相談に関して」

2017年に始まった「LINEを利用したいじめ・自殺相談」。
児童生徒から相談を受ける方法として、電話よりもSNSを活用する方が効果的であることが明らかになりました。
2018年度には文部科学省「SNS等を活用した相談体制の構築事業」で30の自治体が相談事業を実施され、
今年度は35都道府県47自治体で実施あるいは検討されています。
(※事務局調べ:4/18現在)

第一部では、文部科学省で実施している「SNS等を活用した相談事業」の実施状況について
松木 秀彰 様(文部科学省 初等中等教育局 児童生徒課 生徒指導 室長)よりご報告いただいた後に、
SNSを活用した相談窓口に関わる様々な立場の方から各自の取り組み内容をご発表いただき、
今後の課題等についてディスカッションいたします。

◆第二部パネルディスカッション「SNS相談の発展の可能性」

2017年秋、SNSを通じて悩みを相談した9名が犠牲になる事件が起こりました。
この事件をきっかけにインターネットを通じて自殺願望を発信する若者の心のケア対策が検討され、
2018年3月の自殺対策強化月間にSNSを活用した相談事業が行われました。
自殺防止対策のSNS相談は2018年4月以降も継続的に実施されています。
2018年11月には東京都でSNSを活用した児童虐待防止相談が実施され、今後様々なジャンルにSNS相談が活用
される可能性が高まっています。

第二部では、昨年東京都で実施された児童虐待防止LINE相談について、
中村 浩太郎 様(東京都福祉保健局 少子社会対策部 計画課 課長代理)よりご報告いただいた後に、
今後活用が検討されている、あるいは活用され始めた多種の相談に関して様々な立場の方から
各自の取り組み内容をご発表いただき、今後の課題等についてディスカッションいたします。

【FAX参加申込み】

返信用FAX番号：03-6893-3931

貴社名/団体名 _____

お名前 _____ 他 名 _____

ご連絡先 _____

参加 (名) ・ 不参加 _____